

君津まちづくりプロジェクト「住民協議会」 第1回議事概要

分科会	第1班
コーディネーター	伊藤 伸（構想日本総括ディレクター）
日時	2020年2月11日（火・祝） 14時00分から16時16分
場所	君津市役所6階 601会議室
その他	参加者数26名 欠席者数12名

コ) コーディネーター、市) 君津市職員、プ) プロジェクトメンバー、オ) オブザーバー

趣旨・概要

分科会テーマ

「”市民のため”を最優先した施設の管理運営とは？」

～施設が活きる管理運営の方法を考えてみよう！～

- ・話を聞きながらになるが、改善提案シートを書いていただく。
- ・1班のテーマは施設の管理運営である。
- ・施設レビューの振り返り。具体的に、受益者負担の適正化、借地の取り扱いの見直し、施設管理（運営）体制の見直し、施設所管課の見直し、利用予約の利便性向上、積極的なPR推進、経費削減はもとより「収益増・利用者増」の仕掛けづくり、利用が少ない or 利用されていない施設や用地の収益化などについての説明。

協議の流れ

①料金について

- コ) この1か月で公共施設を使ったという方。どこを使いましたか？
- プ) 公民館。週4回。
- コ) 週4回、サークルか何かですかね。普段料金は。
- プ) 会費だけです。だから公民館には1円も払いません。ある1つのサークルでは、サークルの半分近くが他市の人です。それでサークルによっては君津市の人しか会長をできないというふうになっているところもあります。他市の人を表に出せないから。そうすると他所の人がいっぱい入ってくる。役員をやらなくていいから。
- コ) 改めてこの1か月間使いながら考えてみて、何か使いにくいとか、もう少しこうした方が良さそうとかありますか。
- プ) 私は中央公民館の麻雀サークルに入っていますが、台もないから自分たちで板を置いて準備してやっています。だから今の時代に沿ってないように思います。例えば公園にしても子どもの遊ぶ遊具はあるけど、大人が体操する遊具はないんです。海外の国は全部公園にあるんですよ。散歩に来た途中で足ぶみをするとか、そういうのがないから、家の方は公園で遊ぶ子どもはもういないから、ほとんどみんな年金生活で、だから時代に沿ってないと思います。
- コ) 高齢者の運動に合うようなものが、今のところないということですね。

- プ) そうですね。公園にそれを置けば散歩の途中でも体操して帰ると思いますけどね。
- コ) 普段使われるのはどこの公園ですか。
- プ) 私は中島の分譲地ですけど、分譲地の中は1つもないです。子どもの遊ぶ物しかない。だからそういうのは行きません。草取りだけ。
- プ) 文化ホールに行きました。文化ホールは他の東京などのホールに比べてワクワク感がないです。中のやっていることが悪いとかそういうことではないので、ホール自体にワクワク感がないです。例えばあそこでおいしいお茶を飲もうとか、空き時間に飲もうとか、そういうのは指定管理をずっと同じ人たちがやっているから、そういう発想がないのだと思います。例えばホールの入口にお茶を飲む施設があったり、今いろんなホールでは休み時間にワインを売ったりビールを売ったりしているんですね。だから、そこで入場料のほかに少しお金を落とせる。今日何を食べようかなとか、そこでお話をするとか、行くこと自体が楽しい施設が良いなと思いました。
- コ) カフェは常時は開いてないでしたよね。
- 市) 入口のところにあるカフェは月に8日間以上ということで、大きなイベントに合わせて営業しているというのが現状です。
- コ) その運営自体は指定管理をしている団体の中でやっているわけではなくて、別途お願いをして来てもらっているんですね。
- 市) そちらの方は行政財産として貸し付けた方に営業をお願いしています。
- コ) 今の話を合わせて利用料金のあり方とか、どう収入を得るかとか、この中で取る1つの策として人が集まる場所でお金を取ることができないかについてどうでしょうか。
- プ) コンサートホールで劇前とか休憩の時にアルコール、ソフトドリンク、軽食を提供するところというのは確かにあります。ただ、それは別に今に始まった話ではなくて、特にクラシックなんかは、昔からそうですよね。文化ホールを運営している方は、そういう文化とかを勉強しているのかなと正直思います。採算取れるか取れないかは別として、前に1回文化ホールにクラシックを聴きに行った時に、「あれ、何もないんだ」と思いました。
- プ) 行って帰るだけの施設なんですよ。
- プ) だから1回そういう周りの施設のことを勉強した方が良いのかなと。
- コ) 確かに文化ホールって全国に色々とあって、特に君津の文化ホールって全国的にも大きいものになっていて、私もこういうふうにしていろんな施設を見に行くんですけど、たぶん今のお二方のお話は人が集まる時だけ開けるというより、常時開いていてそこを日常的に人が集まるような場所にして、実際そういう文化ホールがあるんですね。
- プ) もちろん常時開いていますし、コンサートが開かれるときは臨時ブースとかを設けてやったりしていますよ。個人的にはやっぱりクラシックの間にはビールとか欲しいなと思います。
- コ) 今文化ホールは、規則の中でアルコールは飲めないとか何か規則は入っていますか。

- 市) 飲食についての規則は特にありません。ただ、君津市の場合は、お車で来る方が多いというのが現状です。
- コ) 常時運営などをするでお金を取る仕組み、ここからは個人的な意見ですが、文化ホールについて議論をしたときにあれだけ稼働している、特に文化ホールはとてもよく使われている、ただその使われ方というのは毎日毎日誰かいるというより準備のために使われているというお話もありましたよね。だから余計にかもしれませんが収入と支出の差がかなり出ているというのは、今後もっともっと借りてもらってもその収支差は埋まらないのかなと、だから別のところで埋めないといけないのかなというのが1つあるのではないかなと思います。他にいかがでしょう。利用料金や施設のこと、なんでもいいです。
- プ) 今の話の中で出てきたアルコール、アルコールを提供するのだったら公共交通機関の話がやっぱり出てくるのではないかなと思います。
- コ) 今はあそこに行くバスというのは、高速バスのバスターミナルの近くであるけれども市内循環バスの方はどうでしょう。
- プ) あります。2系統あるはずです。日東バスとコミュニティバスがあります。
- プ) 本数は少ないですけど。
- コ) どこも課題なのは、バスは走らせるけどなかなか乗らない。乗らなくなるとだんだん収支差が広がるから便数が減るからより乗らない。もし文化ホールが、聴きに行くための場所ではなくて溜まる場所だとか、賑わいのある場所でアルコールも提供するというふうになったら、なんとしても行く可能性があると思いますか。行政としてしんどいところは、分かった、やってみようとなって、増便しても全然乗ってくれなかった時ですよ。
- プ) 例えばこういう使い方をしている人がいます。だいたい始まるのが13時半開場の14時からです。そうすると12時のコミュニティバスで行ってお昼をその近くのところで食べて、13時半近くになったら会場に戻ると。この時にアルコールをちょっと入れて、そのあとバスで帰ってくるというパターンをある人はやっています。だからバス代で200円は使いますよね。それに加えて民間のところで飲食をしています。だから文化ホールに飲食をすることができれば、もうちょっとそこでも落とせると思います。少ない事例かもしれませんが。
- コ) 少なくとも聴きに行く観に行くだけじゃなく、その手前とか終わった後に溜まる場所がないとお金も落とせないわけですね。個人的には良いアイデアだと思います。
- プ) 私は陸上自衛隊にいますけれども、航空祭の時に個人のブースとして車で屋台のようなものが色々来て、子どものおもちゃや航空機の模型だとかそういったものをよくやっています。そして結構な数が来ます。そういったところで文化ホールも例えば民謡をやるようでしたら民謡のCDを持ってくるとか、音楽関係のところに声をかけるとか、そうすることでわざわざ文化ホールで用意しなくても、他所から商売のためにそういう方が来て、その中ではお酒を提供するところがあったり、関連のグッズ

を提供するところがあつたりすると良いのではないかなと。一度オープンにすることで、こういうイベントがありますよと宣伝することで、個人のブースをやっている方が来るのかなと。わざわざ市の方でやるのではなくて、オープンにして募集をするというのがあつたらお店も増えるし、行ったときに今日は何が来ているのかなと利用者が楽しめる場所になるのではないかなと。人が集まるところに企業も集めてやったら個人的には楽しいのではないかなと思います。

- コ) 主催団体がイベントホールなどを使ってイベントをする時に、受付の横とかで販売することはたくさんあると思いますが、今のお話のように主催団体以外の関係するところが販売をするようなケースはありますか。例えば、音楽協会や文化協会が主催して出し物をするようなときに、主催である文化協会以外にサークルで何かやっていると、一緒に販売しませんかという感じに。
- 市) あまり聞いたことはないですね。
- コ) 何か規則で決まっているというわけではないですかね。
- 市) あとは何かフェアのようなものでやるときには色々と集まっています。
- コ) 航空祭っていうのは色々なブースで出るということで、私も知っているところでは、陸上競技場で大会をやるとき子どもたちがたくさん来ているけど、その主催団体である体育協会じゃないところが一緒に出てくる。ちゃんと出店料も払って、販売をして、その売り上げの何割分は市の方に入れるというふうに行っているところもあります。
- プ) 例えば産業フェアというのが文化ホールであると、その時に色々なブースがあるので、産業フェアとしての催し物ではなくて、文化ホールに来た時に色々と何かやりませんかと言ったら君津市にあるお店が来るとか、そういうのを専門的にやられている方が来るとか、もう少し営業ができる範囲を広げたらせっかく人が集まる場所ですので。行ってみてよかったですだけではなくて、行く前も楽しめるし、講演が終わった後にも帰りに楽しめるような、お互いに良い場が作れるのではないかなと思います。
- コ) 皆さんのお話を聞いていると、文化ホールの話がよく出てくるのできっとそれだけ象徴的だし、もっと収入を増やせる施設になり得るのではないかなと思います。
- プ) 市民の生活を最優先した施設の管理運営、このテーマについて、市民というのも色々な市民がいるので、私の個人的な考えとして孫とか子どもたちが将来にわたって君津で過ごせる魅力あるまちをつくるのが、我々に与えられた役割ではないかなと思います。その中で今現在、例えば中央図書館の会議室、公民館の会議室の料金を徴収する、しないの議論。それから野球場にしても同じことが言える。つまり目的は同じでも料金は徴収するところ、しないところについては均一化する必要があるのではないかなと思います。そこで取るのか、取らないのかという議論になるとと思いますが、今の君津の財政状況を見ると、これは将来にわたって子どもたちが住み着くような状況ではない。そうすると他所の町に行ってしまうわけです。そうならないようにするためには、100円なりでも50円なりでもいいから少しずつお金を取って、それを何らかの形で活かしていくというような運営の仕方をすれば、公民館にしてもお金を出す

責任のある使い方をするわけです。そういう意味で我々が、年金生活で大変ではあるけれど、明日の子どもたちのことを思えば、少しくらいのお金は払っても良いのではないかなと思います。したがってお金を徴収するようにした方が良いのではないかなと思います。

- コ) 少しでも取って子どもたちに使っていこうというところで、施設レビューの振り返りにもなりますが、今日の資料に利用料金を取っているかいないかの一覧が出ていると思います。これには市として何か基準があって料金を取っているのか、結果的に一覧にしてみたらこうなったのか。どちらでしょうか。
- 市) 資料として一覧にしましたが、利用料金は、統一的な基準があってやっているわけではなく、施設ごとに基準を持って取っていると思います。
- コ) 例えば社会教育系の施設の利用料金はこうです。スポーツ施設はこうです。という基準だったら一律という形にはならないと思いますが、そういう一律の基準はありますか。
- 市) 公民館であれば社会教育施設ということで、そういった目的の利用ということで無料になっています。それぞれの施設においてはそれぞれの施設で。
- コ) もし、今の基準があるとしたらスポーツ・公園施設の中で利用料金を取っていたり、取っていなかったりするの、どうしてなのでしょう。
- 市) これはスポーツ公園施設となっていますが、スポーツ施設と公園施設で目的が違っているということがありますし、公園については中央公園ですと人の出入りが把握できていない所ではありますし、利用料金についても馴染まないといったところがあるので、そういった施設の性質もあり、このような形になっています。
- プ) 利用料金について、スポーツ施設ですが、例えば球場なら球場で施設によってその状況がかなり違います。小糸スポーツ広場と緩衝緑地で全く違います。それを全く同じ料金という形にすると、小糸スポーツ広場は試合がすごく多いけれど、緩衝緑地の方は少ない。だいぶ差がある。グラウンドは野原みたいなところですけどデコボコでだいぶ差がある。小糸スポーツ広場はちゃんと整備されている。そうなるとそこで統一するというのはちょっと厳しいのではないかなと思います。
- コ) その統一の仕方が、こういう基準の中で小糸スポーツ広場はいくら、緩衝緑地はいくら、と横で見たうえで料金に差があるというのは、これも一つの基準だと思います。たぶん施設レビューの時から議論でいくと、それが今のところはなく、各課の中で体育振興課が管理をしているグラウンドについてはこうだ、公園緑地課が管理しているグラウンドについてはこうだというふうに横が見れていないのかなという議論だと思います。
- プ) 同じグラウンドでありながら、市民体育館と一緒に見られているというのがあると思います。そうすると管理者は一緒、ただし体育館の方はちゃんと管理しているけれど、緩衝緑地の方はほとんど手を入れてない状況です。そこが管理の担当部署が違うということがあるのかなと思います。

- ブ) 今のお話は施設を全て存続することが前提のお話になっていて、私は逆に料金を一律にしました。どこかの球場は人気があります。どこかの球場は人気がありません。人気がない方は自然に淘汰されるというのもあって良いと思います。だから現存ありきではなくて、そこはもう少しある程度、許容範囲を持って考えた方が良いと思います。
- コ) これくらいの利用状況だったら廃止にするというような判断基準のようなものも欲しいですね。体育振興課と公園緑地課の方で今後こういうふうにしていきたいとか何かご意見があればお聞きしたいです。
- 市) 利用料金については、今後は徴収していくという方向で考えていかなければいけないと思っています。いくつかの施設については料金案も検討しているところですが、なかなか無人の施設が多いので料金の徴収方法について検討しているところではあります。施設の存続等についてはその施設をどうするかというよりも、体育振興課としてその施設の今後のあり方を全体的に考えて進めていくべきだと認識はしていて、これからそれをどういうふうにしていくかというところを課の中でも話し合っています。
- 市) 前回の施設レビューからこれまで体育振興課と協議はしてはおりませんでした。料金の根拠ですが、この条例ができたときの近隣市の料金設定を参考に料金設定をしたということです。一日使うと一般市民ですと2,700円になっています。
- コ) この30分間の中で二つのことが出ています。特に文化ホールにおいて収入を増やしていくためにどうしたら良いのか。それから料金の取り方、ある程度料金を取っても良いのではないかという話です。ただし、なんでもかんでも使っていない所まで料金を取るのではなくて、そこは、ある程度基準を決めた中で廃止も含めて検討が必要ではないかということでした。
- ブ) 設備の維持費を利用者が負担するというので、利用料金を取るということは非常に必要なことだと思っています。ただ矛盾するかもしれませんが、私は少年野球の監督をやっている関係で市の方の団体の登録をすると、教育関係の団体だということもあって減免の措置が取れます。子どもたちの育成ということを考えたらそれは残してほしいと思います。その団体というのもどういう団体が減免になるのかということも考えないといけないのかなと思います。
- ブ) 市民の最も優先した施設管理ということですので、学校はお金を取られないのと同じで、公教育についても大人になっても社会人教育だから社会人教育や子どものためのスポーツ施設などはお金を取るべきではないと思います。だから公民館も同じだと思います。ただ市民のための施設だから、特に中央公民館は市外の人利用が多いからそこは考えないといけないと思うけれど、私は公教育に関する施設はいくら維持管理費がかかっても取るべきではないと思います。ただ、色々なところの施設を見て、指定管理に回せるようなところは指定管理に回してそういうことをもう少し課が跨っているかではなく、公が管理しなくても良いようなところ、それから少し長引きするようなところは競争入札をして、今アイデアを持っている人はたくさんいるので、

そういう人たちに任せるのも良いと思います。

- ブ) 市民のためになるかと考えたときに、子どもたちが住み続けたい、戻って来たいと思えるような町にするためにはその対象となる子どもたちについては料金を取らない。その代わり取れるところは取っていいこと。それから市内の料金と市外の料金に差をつけている施設は君津にはありますか。
- ブ) 老人憩いの家すえよしです。
- ブ) 久留里の市民プールです。
- 市) 久留里の市民プールも市内外で料金は違います。小糸スポーツ広場も減免の対象は多いですが、市内外で差があります。
- ブ) 松丘のスポーツ施設は取っていないですよ。あそこはアクアラインからすぐ来られるからすごく市外の人が多いという話を聞いたことがあります。ああいうところは市外だったら取っても良いなと思います。
- 市) 確かに松丘のスポーツ施設は市外のみならず、県外の方もご利用いただいている状況です。それには無料だからという理由もあり、使いやすいという理由もあると思いますが、あれだけの施設だったら有料にしても良いのではないかという意見を頂戴しているのも確かです。
- コ) やっぱりこの収支差を埋める方法はまだあるのではないか、という話が今出てきているのではないかなと思います。
- 市) 内みのわ運動公園と君津緩衝緑地につきましても、すべて有料施設は、市外在住者の料金が倍額となっております。
- 市) 文化ホールも市外の方からは割増料金を頂戴しています。
- ブ) でもその割には収支の成果が出ていませんよね。
- コ) これは私もそう思って減免団体が多いのではないかと行って数字を出してもらったら12%とそれほど多くはない。
- ブ) それからやっぱり子どもは優先すべきではないかなと思います。子どもからも取りません。大人からも取りません。施設は全部残してください。これは現状から何が変わるのでしょうか。そこはちゃんと考え直した方が良いのではないかなと思います。
- コ) 減免している団体の基準をもう少し明確にしていくということですね。
- ブ) 個人的な意見ですが、例えば野球をやらないと死んでしまう人はいないと思います。野球をやらない子どもたちが出てくるわけではないと思いますが、施設またはサークルとかも減免の「免」というのが必要あるのかというところが気になっていて、プールもそうですが、子どもがプールを好きだったとしても、やる場所は限られていて市民プールなどもそうですが、利用料金は取られているので野球に関して免除だったら、何故子どもたちの間で差があるのかなと育児をしている親としても気になる部分です。少しでも良いので取っても良いのではないかなという気持ちはあります。
- コ) この減免基準は、よくあるのは社会教育に資する利用は免除するという書き方はありますが、利用目的を基準にしているのか、利用団体の性質を基準にしているのか、ど

うでしょうか。

- 市) 内みのわ運動公園と君津緩衝緑地については、有料公園施設の使用料の減免に関する事務取扱要領というものがございまして、その減免基準に基づいた団体、または公共団体、君津市教育委員会、小中高等学校の体育連盟が主催する行事ですとか、保育園等が主催する行事、身体障害者の方が使用される場合は免除しています。
- コ) 減免基準に該当する団体の減免基準というのはなんですか。
- 市) 団体は教育委員会で認めた団体。スポーツ少年団とか、体育協会などが該当します。これは教育委員会の方から一覧表をもらっておりまして、その団体であれば減免ということにしております。
- コ) その教育委員会の基準によって団体が選ばれているのか、結果的にこの団体という形で指定をしているかで違いが出ると思います。新たに団体を作って、そこは、この基準に該当するから減免なのか、教育委員会から減免だと言われないと減免にならないのかで違いますよね。
- 市) 任意の団体等は減免になりませんので、しっかり個別審査をし、教育委員会ともすり合わせをしております。
- プ) 今、野球の話がクローズアップされたので、皆さんの誤解を解くために言いますが、スポーツ少年団というのは野球だけでなく、サッカーも剣道もバレーボールもあります。広く色々な競技が登録しています。だからそういう団体はすべて減免になる。
- プ) 今日は316億をどうするのかということが集まっているのに、皆それぞれ自分が使っている施設は、駄目だというばかりで、これでは何のために集まっているのかわからない。ここはみんなで協力して減らしましょう。私は昔ヨーロッパに行きましたけど、物価がものすごく高い。100均で売っているような物が1,000円くらいする。それだけ税金を取れば全部タダにできます。取らないで316億、使えるのは27億しかない。それをどう使うか考えないといけないのだから、自分のことばかりではなくて、どうやって痛みを分かち合うのか話し合った方が良いと思います。
- コ) 先ほどもあったように、今、基準をちゃんと作っていないから、基準を作って利用状況にあてはまらないなら見直し、廃止することも含めて考えるというのはすごく大切な話になってくると思います。
- プ) 私は内みのわ運動公園くらいしか使っていないので、最近はドッグヤードもできて、良い変化があると思いますが、少しトイレが問題かなと思います。色々問題は出てくるとは思いますが、トイレの利用料金を取るなどして年中使えるような形にしていくのが良いのではないかなと思います。
- 市) 先ほどの使用料の免除についてですが、教育委員会の減免の基準というものをここで一度明確にしておいた方が良くかなと思いますので、お話しさせていただきます。使用料の免除に関する事務取扱要領というものを定めております。その中では君津市民スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の規定に関する小糸スポーツ広場の野球場については使用料の免除に関する基準を定めますと。その中でいくつか項目があり

まして、1つ目は、国・地方公共団体またはこれに準ずる団体が使用するときは免除している。2つ目は学校教育法に基づく学校が使用するときは免除します。3つ目は千葉県小中学校体育連盟、君津市小中学校体育連盟、千葉県高等学校体育連盟が主催している行事は免除。それから児童福祉法に規定する保育所、市内の保育所が使用する場合。それから身体障害者福祉法に基づいて障害者手帳の交付を受けた者、療育手帳制度に基づいて療育手帳の交付を受けた者については免除。次が社会福祉法の規定に基づいた社会福祉事業を営む団体、障害者基本法に定められた障害者及びそれに付き添う者などです。

- コ) 今あった基準に当てはまるか当てはまらないかで判断しているということですね。
- プ) 今までその基準でやっていたからこういうふうになったのではないかと思います。だから見直しをした方が良いのではという話になると思います。
- ブ) 私は今まで東京に住んでいて、時々ドライブを兼ねて、土曜日や日曜日を利用して千葉県に来ていて、埼玉や長野や群馬県の方も色々行ってきましたが、アクアラインができてから、とても来やすい場所になりました。東京という場所で仕事をしていて自然がとても魅力だったものですから、本当はもっと早く来たかったのですが、歳をとったからこそ自然のある日々を過ごせるのではないかということで、去年の3月に移住してきました。だから、とてもそういう意味では君津市に期待していることがたくさんあります。東京では子どもたちに関わる仕事を長年しておりましたので、千葉ならではの里山のあるところで育ったお子さんたちと関われる老後が過ごせればというところで移住してきました。文化ホールの話とかスポーツ施設、産業観光施設にも大変関心はあります。君津の文化ホールにも行きました。とても素敵な広い環境の中で、早く行ってコーヒーを頂いたり、地域ならではの特産物が販売されていたりすれば、地域の人以上の人もあそこに行けば何かあるのではないかという楽しみもあって、催し物にも行けると感じました。それからスポーツ公園施設に関しては、東京の子どもたちが高速バスに乗ってわざわざ来てくれます。そういう時に例えばタケノコが取れる施設であれば連れて行こうと私自身も色々調べて行ってきましたが、公園とかはあまり管理されていなくて、閑散としていたので、そこで何をすれば良いのかなというのが課題かなと思っています。金額に関しては、施設を維持していくために子どもたちにまた還元していただけるようなイベントとか施設に回して頂けるようであれば、子どもたちもお小遣いで参加できる金額で良いから、支払う必要があるのかなと思います。
- コ) 子どもというのが一つのキーワードになっていて、市長の最初のお話にもあったように、君津の今後を考えた時に子どもがいかにここにいたいかと思えるか、そのための施設を考えたときに収入を増やして行って子どもたちのための投資に回そうということですね。
- プ) 子どもたちもそうですが、年齢を重ねた方たちの人生の中には、独特のものがあると思うので、スポーツや公園などで子どもたちに還せるものがあれば高齢者の生きが

いにもなり、今日は何をしに行こうかなというふうになると思います。

- コ) 高齢者と子どもが触れ合う拠点のような使い方が公共施設の中にも必要ということですよね。利用料金の話で先ほど公園緑地課の方からもあったように小さい金額を取ろうとすると逆にお金がかかってしまうから取らないようにしている施設はかなりあります。ただ、最近増えているのは公共施設ではないですが、これだけキャッシュレスが進んでいるので LINE Pay で施設の予約をして、支払ってというやり方だと無人でできる。こういう仕組みも開発されていて初期投資が数十万かかるけど施設運営という観点からすると公共施設についても絶対に元が取れる。多分時代が大分変化しているんで、そこに合わせるようなやり方であると思います。そこまで決められるわけではないですけど、チャレンジしていくことが大切だと思います。

②管理について

- コ) 前半は収入を取ることについて議論してきました。やはり文化ホールは賑わい施設として収益施設としていけるのではないかと皆さん思っているんでカフェやアルコールも含めた常時販売ができるような仕組みを考えた方がいいのではないかとというのが一つの意見でした。それからもう一つが利用料金の取り方、基準を作って利用状況の中で利用状況が悪いところは廃止の検討をしても良いのではないかとか、減免の基準を見直すこと、厳格化していくことも必要なのではないかと。その上での大きな考え方として市民のための施設とは何かと考えたときに、子どもたちが住み続けたい、将来戻って来たいと思えるような施設ということを観点にしたときに、今、年間で27億円かかっているものですか、収支差で行くと23億円くらいをどう縮めていくかを考えることが必要なかなと思います。決して行政側も何も考えていないというわけではなくて、利用料金を取ること検討しているという話、ただ徴収をすることで逆にコストがかかってしまうのではないかとという中で、LINE やキャッシュレスの考え方とか Yahoo 公金というような仕組みもありますので、それも含めて徴収コストを抑える方法もあるのではないかとというのが前半の話だったかと思います。後半は管理についてということで、例えば指定管理になっているけど料金を取っていない所とか、指定管理ではないけど料金を取っているところとか色々パターンが分かっているかなと思います。管理についていかがでしょうか。
- プ) 私の印象としてこの指定管理は意外と進んでいる印象があります。鴨川市と比べると進んでいるだろうなと思います。ただ、レビューの中でも出てきましたが、長い期間同じ団体が施設を管理している場合や公的性質が強い社会福祉協議会や、文化ホールの財団などが指定管理をしている場合に、本来、指定管理制度が持っている民間の力で管理していることであればコストなども削減されていくし、あるいは民間のノウハウを活かしていろいろな事業を行ってその結果市民サービスが向上し、市民が行きやすいとかサービスが向上するなどのメリットが最大限に生きていないのかなと思います。その結果、文化ホールであれば歳出の部分が、人件費が高いというような話が

ありましたが、そういうところに繋がっていると、あるいはもっと事業ができるのではないかという民間で考える部分というのがマンネリ化しているのではないかなという印象を受けました。

- コ) 私も指定管理をしている施設の数、色々な自治体と比べて多い方だと思いますが、先ほど言ったような指定管理の特徴、民間的な視点を入れて稼げる場所は稼いでもっともっと市民のためになっていこうというような観点での指定管理ではないものもあるなど感じています。例えば、農村環境改善センターは久留里の地区の方に指定管理をお願いしているけれど、それは運営を委託しているというよりは管理委託をしている。これは管理している方もおっしゃっていたので、実はそういうものが君津には多いなという印象があります。コミュニティ施設にも同じような話があったと聞いています。もしかしたらそれは本当の意味での指定管理になっていないし、もう一度その施設の何が良いか考えたときに、その施設の一年ごとの単純な管理委託の方が支出を抑えられる可能性だってあると感じていて、使う側からするとどう管理しているかはわかりにくいところもあると思いますが、もう少しこういう管理があると良いなという方はいらっしゃいますか。
- プ) 指定管理のあり方ですが、公園管理にしてもスポーツ広場にしても色々な課に跨っています。したがって、5課あれば5人いらっしゃると思います。そうすると指定管理をする場合もそれぞれの課で管理をすることになります。仮に同じ事業者で草刈りを委託すると、そこにスケールメリットが発生するはずだと思います。だからその辺りをもう少し効率的な運営の仕方があるのではないかと思います。それから施設の管理にしても担当者の窓口が一つであればお願いする方も、情報処理を使い計算機を使いデータベースでの予約もできると思います。ということで担当者が一人で施設管理も含めて予約受付もできると思います。そういったことを検討してはいかがかなと思います。
- コ) 内みのわ運動公園というのは都市公園になっているから公園緑地課になっているけれども、使われ方としてはスポーツで使われることが多いので、体育振興課で持っているスポーツ広場とか市民体育館と一体的に考えた方が良いのではないかと。管理をするうえでも今あったように、課が違うから管理する団体も違うというのではなくて一緒でも良いのではないかと。ということですね。
- 市) 君津市以外の自治体について、都市公園の中のスポーツ施設やスポーツ広場等を合わせて管理している自治体もご紹介します。ただ、ハード面については都市公園ですので、樹木の管理や草刈については公園緑地課でやっていかなければならないのかなと思います。ただ、例えばスポーツ課のようなものを作れば、予約の受付等のソフト面については統合できる余地はあるのかなと考えています。
- コ) そうなってくるとそこを指定管理に出すときも、課が違うから契約も別々ということにはなりませんね。
- プ) 地元が亀山というのもあって、亀山会館とか片倉ダム記念館が利用料金を取っていない

い、予約も取っていない、指定管理者制度でもないわけですが、今、都内に住んでいるのでわかりませんが、亀山会館は昔、レストランもやっていたけれど今は時々見たりすると活気がないのがわかります。オータムフェスティバルの時は人が来たりしてPRをして花火もやっていて、そういう時は人が来るけれど、それ以外は全然集まらないというのが分かって、PRで亀山会館や片倉ダム記念館も人を集めて利用してもらうことで色々と変わるのではないかなと思います。個人的にはそこで無くしてしまうともっと人が来なくなってしまうのかなと思います。移住の話とかもすごく興味があって、私は今、美術大学に通っていて、閉校になる学校を宿泊施設として時々利用できないかというのを考えて授業で提案したことがあって、新しいアイデアで人を集められたらというのができたら良いなと思っています。

- コ) 子どもと高齢者の拠点や移住者を呼ぶための拠点としての施設、廃校になった学校もそうですし、これから君津では廃止する施設を何か利用できるかもしれないですね。
- プ) 始めの方の話に戻りますが、文化ホールはワクワク感がなくて、私の妻が元々川崎に住んでいて結婚後に、引っ越して来たんですが、君津市って何もないよねと言われました。私は、ずっと住んでいたのが気づかなかったんですけど、公園も行って何もないし、あったとしてもボロボロだし、下手したらお化け屋敷みたいだよねという話があって、そうなるそこを利用もしたくないし、ワクワク感もないし、じゃあほかのところに行った方が楽しいかなってなってしまう。それは色々なところに繋がってくると思います。人口も減るし、悪循環になると思います。利用者を増やす、お金を取るなど色々なことをしていかないとやっぱり人は確実に減っていくと思います。自分は今魅力がないなと思っているし、子どもたちも魅力がないから出ていくと思うし、同級生も地元に残っているのは数人しかいないし、取るところは取ってそこに投資していかないと、指定管理もそうですが民間の力をもっと借りるのが大切かなと思います。それから君津の売りをもっと前面に出していった方が良いと思います。アクアラインがあるので、都内に通勤するのはすごく便利で、私は空港で働いていますけど、近くて良いし確実に座って行けるし、市長の話にもありましたけど働く人口を増やすためには都内に近くて働きに行けるということをもっと出した方が若い世代はもっと集まって来ると思う。そのために若い人たちが使う公園のような施設にもっと投資するべきで、それ以外のところは無くすという判断もありだと思ったり、歴史を残すとしても建物はなくても別の施設で残すというのも一つの方法だと思います。
- ク) 君津の売りは何かを考えて、この売りが活かせるような施設のあり方を考えていく。どうしても市役所になると課がたくさんあって硬いという話がありますが、ある意味職員の担当者は、日々の管理をしなくてはいけないことがあるから、なかなか将来の話をする暇がないということもあると思います。だからこそ、こういう場で提案をするのが大切だと思います。もう一つ、君津の施設が古いという話は、実は数字からも裏付けられるところがあって、歳入歳出一覧表の中の歳出のその他は、ほとんど修繕費とあって、この金額は同じくらいの人口規模の自治体で調べてみたら圧

倒的に少ないです。これは今回、君津市の施設を見て回った時の実感とも一緒に、平成10年くらいに建てられた施設はほかの自治体からするとまだ新しいと言われる部類ですが、見てみると古くなっています。これは普段修繕費をあまりかけず、手をかけていない。そして古くなってどうしようもなくなった時にぐっとお金をかけているのかなというのが君津市の印象です。修繕費は少し上がってしまうかもしれないけど、それは今回しっかり集約をしてその中で生まれた修繕費をちゃんと毎年手をかけていこうというふうにするのもできるのかなと皆さんの話を聞いて思いました。

- プ) この施設はあまり使われていないからやめるとかは2班や3班が考えることですよね。
- コ) ひとつひとつの施設をどうするかというのはどの班でもやらないです。ただ施設レビューの中で皆さんの意見はかなり出ているので、それは踏まえます。全体の数については3班の中でやります。
- プ) やはり料金を取るためには、料金に見合った環境整備というのが必要だと思います。それは私も公民館関係のことで、やったことがあります。ボランティアの人でやったり、利用者に、この日と決めて、自分たちの道場は自分たちで環境整備をしてもらっても良いと思います。その分、減免もされているのでしょうから。そういうところで環境整備をしても、ボロボロの環境で、お金を払うところもありますが、お金を払わなくても、あそこに行ったら綺麗だったねという感想が利用者から来れば良いと思います。それから例えば運動公園に行ったとき、予約でいっぱいだった、使えないで終わりではなくてこういうところにもあるよというアピールもあれば良いと思います。前回は意見させてもらいましたが、例えば、この公園では何ができるのかというところで、グラウンド・ゴルフ場と書いてあればグラウンド・ゴルフができますが、ただスポーツ広場で何ができるのかというところでは、ここがいっぱいだったらここがありますよと、そういう横の連携でしょうか。環境整備もあるし横の連携があればまた利用者が増えると思います。そのうえで料金を取ると。行って良かった、綺麗だったねと。先ほどあったように担当者も手が回らないというものもあるかもしれませんが、全体的に見たら、ここは今いっぱいだけあそこに行けば花が綺麗ですよとか、そういう情報のやり取りをしたら君津として全体的に人が来たりするのかなと思います。ただアクアラインで来て、亀山辺りのセンターに行ったときにまた来てみたいなど思ってもらえるように全体的に考えて君津の魅力とかを考えていけたら良いのかなと思いました。
- コ) 最初の説明の中で、いかに小さくして質を高めるかということを入れていましたけどまさに料金を取るためには質を高めないと、200円、300円でも高いなと思われたらもう来ないわけですから、集約しながらそういうふうに進めていく必要があるかもしれないですね。君津の売りについては、皆さんどうですか。
- プ) 老若が集まれる場所というのがこれからの社会に求められる課題ではないかなと思います。君津の売りを考えたときに、君津の自然豊かな街並み、田園風景があつて、そこで統廃合による空き校舎などが5、6件あると思いますが、そういったものを有効

活用して老若が集まれるような場所を提供することが君津の売りとして都市部にPRしていくことで人が集まるような気がするのですが、いかがでしょうか。

- コ) 使われなくなった物を有効活用してこれからの売りにしていくということですね。
- プ) もっと言うと若い奥さん方は核家族化しているので、育児に思い悩むようなことをよく耳にしますが、高齢者が若い奥さん方やお父さん方に指導していくような施設があると随分イメージが変わるのではないかなと思います。
- プ) 私は主人が転勤族なので北九州からこちらに来て3年目になりますが、子育ての支援がしっかりしていて、土日でも子どもを連れて遊ぶことのできる公共施設があるということに感謝しています。子育て支援センターは月曜休みなので土日にかけて、月曜日はまた違う公民館に連れて行けば遊ぶことができるので、そこに関しては大変助かっています。ただ、そこは借地だったりしてたくさんお金がかかっていたことを知って、利用料とかを払えばよかったなと思ったり、木更津の人なども遊びに連れてこられていて、それは木更津が平日しか開いていないからこっちに来ているという話を聞いたので、そこを何か上手くできたら良いのかなと思いました。それから、一時預かりなどのサービスがあればいいかなと思います。私も親戚がこちらにいるわけではないので、自分が病院に行くときなどに子どもを連れて行かないといけなかったので、一時預かりなどをやっていただければありがたかったかなと思います。
- プ) 私はこういう会に出たのが初めてで、何が何だかわからなくてただ茫然と聞いていますけど、君津にはお花のイメージしかなかったので、きみぴょんとかそういうものしか浮かばなかったです。
- プ) ちょっと話は変わりますが、人件費は大体どれくらいの割合でなっているかというのを知りたいです。それから、君津市として目玉のイベントとして何を売りに出すかがポイントだと思います。何を目玉にするかということ、例えば富津でやっている県民マラソンの時には文化ホールでやっても良いくらいの屋台のようなお店がたくさん出ています。だからそういう呼びかけをやってもらった方が良いのかなと思います。それから、君津市で資料館を二軒持っているかと思いますが、歴史的な価値があるので君津市で負担して残しているのだと思いますが、歴史的な価値があるものは千葉県に返上してしまった方が良いのではないかと思います。君津市に必要なものは目玉商品を作ってアピールしていくと、私には目玉商品が何なのかというのは分かりませんが、例えばキャンプ場を10軒くらい作ってそこに人を集めていくようなことが必要だと思います。
- コ) 資料館については漁業資料館と久留里城址資料館と二つあって、漁業資料館については一日に誰も人が行かないということもあるけど、そこにある資料はとても必要なもので、施設として運用するよりもその資料の保管を図書館や地域の公民館などに移管した方がよいのではないかとということで検討しているというお話があったと思います。久留里城址資料館については、久留里城の横に鎧や兜などをかなり展示していて、君津の売りの一つが久留里城だという話があったので、担当の方がとても強い思いを持

たれていて、もっともっと打ち出していきたいという話だったと思います。それから人件費については、今日の資料の数字が一番実態に近い資料になっていると思います。資料4の歳出のところに入件費17億1,800万円という数字が入っているかと思えます。これが施設を運営するにあたってかかっている施設の人件費になっています。これをどう見るかは人によって違うかもしれません。歳出合計からすると大体60%~50%くらい人件費になっているので、個人的にはこの比率が高くなっているのは修繕費がかかっていないから人件費の比率が高くなっているのかなとも思えます。売りについては今あったように君津の施設の目玉商品について考えるということで、拠点については文化ホールなのかなと。

- プ) 君津市になってから市で作った建物はそうあるわけではないだろうと思います。市になる以前の時のものが負担になって財政に負担をかけているような気がいたします。例えば、市役所は、君津市になってから新しく建ったのだろうけれども、小糸であれば小糸行政センターなど支所のようなものを管理しなければいけないということが、かなり負担になっているだろうと思います。その負担をなくすという意味で先ほど人件費が60%くらいかかっているという話がありましたので、これは絶対減らすべきだと思います。誰が見ても人件費は60%以上になったら高いはずです。民間であれば潰れてしまいます。そういう思いが私にはあります。
- プ) 小糸は小糸在来という大豆が有名です。だから、そういうものを活かしてみんなでアイデアを出し合って特産品を作ることも大切だと思います。それから、君津の「君」の字は横の棒が出るのかと思ったら出ないんですね。辞書で引いてみたらそう書いてありました。令和と一緒に同じ字はないと思います。この字を使っているところもあれば使っていないところもある。君津の俳句の会のような団体は使っているし、だからそういうのも、きちんとした方がよいと思います。
- コ) 面白いですね。多分、今は常用漢字になっていないからこの漢字を使っているのかなと思いますけど、棒が出ていないものを使っていたとしたら、何か背景があるのかもしれないですね。
- プ) あまり公共施設というものを利用してなくて、元々自分がインドア派だからというのがありますが、やはり広報が足りないのかなと思ってしまいます。君津市は調べてみると、ドローンをやっていたり、Twitterなどの公式アカウントもあつたりするので、そういう方面で伸ばしていったらよいのかなと個人的に思っていました。君津市の売りは自然豊かな場所でもあるので、濃溝の滝のような場所も探せばあるのかなとも思えます。
- プ) 売りは自然なのかなと思います。先ほどキャンプ場とかもありましたけど、もう少しアクセスが良いような形になれば、もっと人が来るのかなと思いました。それから驚いたのは市の公共施設なのに結構土地を借りているところがあって、どうしてそういう場所に建てたのかなと思ったりもしました。
- コ) もちろん施設によって違うかと思いますが、借地料が発生した背景には、何かあるの

でしょうか。借地料が発生するのは君津だけではなくて、大抵どこの自治体でも借地料は発生しています。きっと最近借りている場所はそんなになのかと思います。昭和30年代くらいの施設を建てるといようなときに発生していることが多いのではないのかと思います。一般的には施設を作るにはどうしても広い土地が必要ですから、田んぼを持っていた複数の人たちから借りる形になったのが、一般的には多いのかと思います。どなたか君津の歴史をご存知の方いらっしゃいませんか。

- 市) 文化ホールについては国から借りている分と、個人から借りている分とありまして、文化ホールは平成2年に開館しております。私もその時はまだ入庁しておりませんので、なぜ用地が買収しきれなかったのかという経緯は分かりませんが、想像にはなりますが持ち主の方から買い上げについては難しいという話があったのではないのかと思います。
- コ) 現状で2,000万円くらいかかっているということで今後はこの間の議論にもありましたが、一つの課題として借地料が発生しているというだけではなくて、借地の単価が場所によって違っているという話があったので、そこは今の相場に合わせていくことが必要だと思います。それからもう一つは文化ホールであれば28年くらい経っていますので購入した方が安かったのではないかなるので、今後20年、30年使うことになるのだとすれば、今からでも購入のことも考えても良いのではないかと思います。
- プ) 「市民のために最優先した施設の管理運営」ということで年長者が子どもを育て、教育できる場所を提供できたら良いなと思います。それからこの間、久留里城址資料館に行つて来ましたが、結構県外などから歴史の好きな方がいらっしゃって、でも入場料を取っていないということがありますので、LINE Payなどのキャッシュレス決済を加味して職員の方の負担にならないようにできたら良いなと思います。
- ブ) 利用料に関してはLINE Payとか出てはいますが、高齢の方は使いこなせないと思います。そういう人たちはどうするのかと思います。回数券などの方法も年代によっては必要だと思うので、そこが課題かなと思います。
- コ) LINE Payとかそういう話だけではなくて、IT化が進む中で高齢者が上手く使えるのかということ、どこの場所でもあるのかと思います。これは個人的な意見ですけども、高齢者は全員使えないのかというわけではないと思います。徳島県の上勝町というところがありますが、80歳の方々がグループを作ってタブレットを使って、葉っぱビジネスをしていますよね。一回行ったことがあります、びっくりしました。すごい使いこなしかたです。つまり、思いをどこに置くのかということですが、もちろんこれを高齢者の方、全員がやるのにはハードルが高いと思いますが。
- ブ) 私は上総地区に住んでいますが、君津の売りというとほとんど海側は日本製鉄の土地しかないの、山側くらいしかないのかと思います。山側だと農産物とか、久留里の方だと水が有名だったり、あとは酒屋もたくさんあつたりするのでそういうのが売りになるのかと思います。あと私は青少年相談員というのをやっているんですが、

その中で君津ふるさとカルタというのがあるのでそれを見ると、各地の小学生が10数年前になると思いますけど、君津のそれぞれの名所を40か50くらい出しているの、機会があればそれを見ていただくと皆さんもわかるのではないかなと思います。探してみると私も知らなかったこともありますし、カラーの生産量が日本一だったりとかするので、そういうものも探してみたりすると良いのかなと思いました。

- コ) この班の中で君津魅力づくり探検隊みたいなものを作ってやるのも面白そうですね。
- プ) 仕事で一般企業のサポートとかをしているので、こういう議論的なものはここまで大きくはないですが、ちょこちょこやっています、当然合理化もあると思います。ただ、現状合理化を進めようと、アイデアを出しても基本的に進まないです。大体頓挫してしまう。だからできるところからというところで進めていった方が良いのではないかなと思います。それからブランド化というところも実は民間の経営団体のサポートもしています、君津のブランドを作りたいと市の方から打診があったのですが、提言をしたことはありますが、進まないです。受け入れ側の方もしっかりしてほしいというのはありますが、ブランドと言ってもそんなにすぐには作れないです。これが良いのではないかな、あれが良いのではないかなというのはどこの市町村でもやっているけれど、なかなか世間の方に響いていかない。過去の例では魅力がないところも魅力だということで、あるところでは提言したことがあります、ブランド化というところで話があるようであれば、進めていただきたいなと思います。
- コ) どこまで思いを本気で持てるかということですね。やるんだしたらとことんやるし、逆に魅力がないところも魅力だというふうに考える。
- プ) 私は袖ヶ浦市の保育園に勤めています、袖ヶ浦市は財政が豊かで保育園もたくさんできていて住みやすく発展がすごいんですが、唯一厚生労働省から指導が来ているのは、作られたもので子どもたちを遊ばせず、自然の中でできるだけ遊ばせてください、そういう指導要領が来ました。袖ヶ浦市の保育園には自然というものが何もないです。どこに行こうかとみんなで頭を悩ませました。袖ヶ浦公園も自然に近いですが、人の手で作られた遊園地や乗り物のようなものではなくて、自然のところで遊ばせてくださいという指導が来て、坂戸神社という神社が袖ヶ浦市民会館の後ろにありますけれども、その坂戸神社に連れて行きました。でも君津は三石山とかそういうものがたくさんあります。ある意味、君津にはそういったものがいっぱいあって、それを売りにした方が良いのではないかなと思いました。さっき言ったように何もかもが満たされて良いものばかりがあるというのが良いわけではなくて、私は小櫃地区ですけども、自然豊かな中で、皆で小糸在来の味噌作りをやったり、豆腐を作ったり自然のもので色々やるということがあります。でもやっぱり、今の若い人たちには、そういうものだけではダメなので、そのところを市役所の人たちに行動を起こしてほしいと思います。何もしないのが正義ではなくて、何か行動を起こしてもらいたい。みんなから税金をもらって、税金を有効に使って、水やお酒もそうですし、カラーもすごいですし、君津には良いものがいっぱいありますけど、やり方が下手だと思います。

こんなに良いものがいっぱいあるのに、どうして通りすがりだけなのかと思います。地域にはアイデアを持った人がいっぱいいますし、優しい人たちもいっぱいいますし、私は君津に生まれて九州からお嬢さんに来てもらいましたけど、君津は生まれ育ったところで、すごく良いところだと思っています。だからそれをPRするのも良いですし、これからの若い人たちが望んでいることも受け入れないといけないし、歳をとった人たちも持っているものを活かしたら良いと思います。そうしたら、子どもも高齢者も楽しめる場所として、やっぱり文化ホールですかね。私は、指定管理にしたらずごく良くなるというイメージがあって、でも指定管理された施設は、どこもみんな良くないですよ。

- ブ) 本当の民間の指定管理ではないからですよ。さっき調べたら公益財団法人とか、そういうもので完全な民間ではないので。とある県の施設で閑古鳥が鳴いていた施設があったのですが、そこは完全な民間になったら、プラネタリウムの中で音楽を聴くなど、月替わりで毎月行事をやっています。来ている人にどこから来たのか聞いてみたら豊島区の方がいて、どうやって来るのか聞いたら、アクアラインがあるのですぐですとおっしゃっていました。ただ食べる場所がないとおっしゃっていたので、食べるものがあれば人を惹きつけるのにいいのかなと思いました。
- コ) 先ほどもありましたけど、君津で指定管理をしているのは、どちらかという地域団体だとか、文化ホールで言えば市が出資している財団だったりします。その財団は文化ホールを運営するために立ち上がった財団で、もし、その財団のスキルが高かったら他の市の文化ホールの運営を取りに行くことだってできると思います。そういうふうになってくると民間の視点になってくると思います。この話を考えるときに君津には大きい民間企業が指定管理者として、入ってくるような施設がないかもしれない。ただ文化ホールは近隣の市の人たちも来ているわけですよ。鴨川にはライセンスを持った大きい陸上競技場があるので、全部が全部君津にある必要はないのでそこをちょっと連携しながらできれば良いですね。
- プ) 文化ホールで個人的な意見ですが、すごく人気のイベントに行ったときに駐車場から車を出すのにとっても時間がかかった覚えがあります。入れるのに出られない。30分くらいかかったと思いますが、すごく無駄な時間でした。場所が悪いと合流、合流、合流で一番奥に入ってしまった人は何回合流を待たばいいのか分からない。駐車可能台数は多いのだから出口を何箇所か設けるとか、せめて合流を減らすことができるような仕組みの駐車場の形を考えてほしいというのが個人的な意見です。あとはいつ行っても何かがあるような場所だといいなと思います。君津の魅力としては、最近個人的に小さいイベントをやっている方のところに参加していて、不純物の入らない水のタンクを作っている方だとか、君津全体では知られていないですけど無農薬野菜を作っている方とかいるけれども、木更津市はオーガニックシティと謳っているのに、君津市はそういうところに力を入れてなくて、でも個人個人で頑張っているというのがあるので、君津市はそういう人たちをもっと大事にしてネットワーク化したらもっ

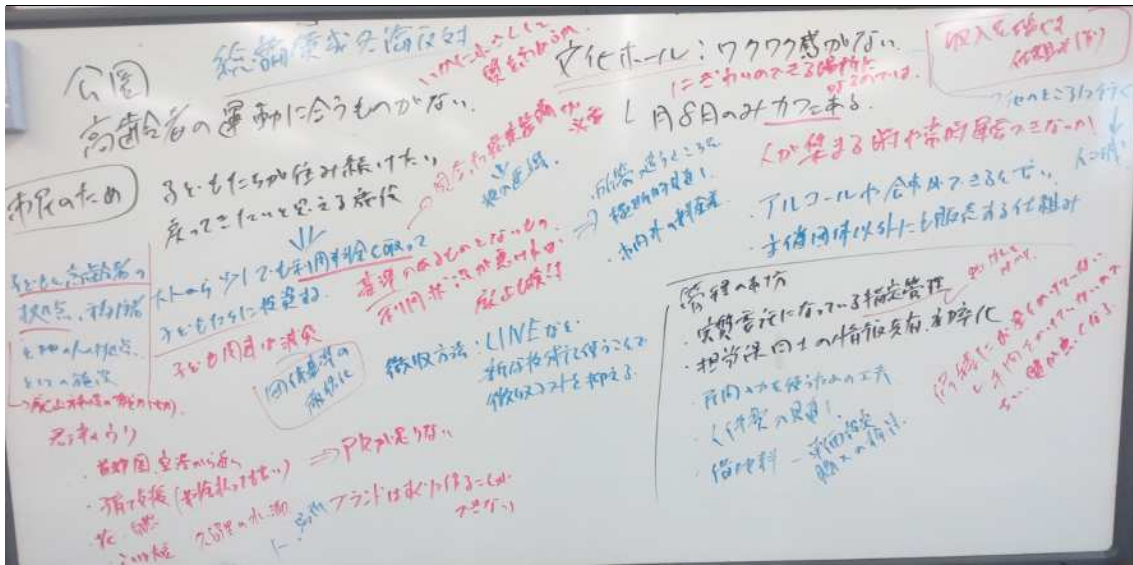
と誇れるようなものが出せるのではないかなと思います。

- コ) 確か文化ホールは駐車場については制約条件があって、問題意識はずっとお持ちだけれどできないことがありましたよね。
- 市) 駐車場につきましては、大ホールが満席になるようなイベントにつきましては、出るのに30分以上かかるという声がありまして、警察や関係機関等とはお話しはしておりますが、道路交通法上なかなか叶わないというところがございます。
- コ) 確か大きい道路の反対側から出られるようにしたかったのだけれども、そっちにすると近隣の人からの反対も出るからというような経緯がありましたよね。
- 市) すぐ手前に大きな交差点も控えているので、危ないということで警察から許可が下りず、今のところ調整がつかないというのが現状です。
- コ) 何か解決策を考えたいところですよ。これはこの後、次回も含めてこの文化ホールを一個の拠点にしよう、賑わいを作っていこうということになると必ずそこにぶつかることになるので、どうやったら解決できるかということが課題になると思います。後半について振り返ります。後半は管理についてということで、指定管理が多いけれども指定管理の特徴を上手く活かしてきれてないのではないかな。それは受けている団体の違いもそうだけれど、施設の規模の違いもあるので、活かせるのは文化ホールなのではないかというところだったと思います。それから人件費についてはもっと減らしていくべきではないだろうかというところであったり、借地料について今2,000万円かかっているというところで、これ自体が良い悪いという話ではなくて、今後のところで単価設定だったり、購入も視野に入れて検討することが必要なのではないかというところでした。少なくとも修繕には今お金をかけていないといったところで、古くなりやすく、他の施設よりも古く見えているところがあるので、毎年の手間をかける必要があるのではないかというところであったかと思います。あとは使い方ということで、子どもと高齢者の拠点や移住してきた人と元々いた人の拠点として廃止となった施設を活用できないかなといったところでした。いずれにしても君津の売りが色々ありました。アクセスが良いとか子育て施設があるとか、久留里の水とか色々あるけれどまだまだPRが足りないのではないかというところで、ただこういうものを売りにしていこうとなった時に、なかなかすぐにアイデアはあったとしても形にするのは難しいので覚悟が必要なのではないかという意見もあったと思います。最後にオブザーバーのお二方からどうぞ。
- オ) 私が参加したときの清和地区のワークショップのまちづくりは地域を盛り上げるためというような視点のまちづくりだったので、今回のまちづくりはお金のことや、施設のことなど市全体のこと、盛りだくさんな内容なのでもっと内容を理解して自分の考えをまとめたいなと思っています。君津の魅力ってまずは人が良いです。場所も良いです。公共の交通機関さえ整えば仕事も通学も大丈夫だと思っています。あとは小さな子どもを預ける場所とか具体的なことはいくつかありますけれども、住民が減っていて、でも外から呼ぶことができる可能性は絶対にあると思っています。本当に地域

のために集まってくれる人がこれだけいるということが今回参加して分かったので、今回参加して良かったと思います。

- オ) 今回は君津のまちづくりというテーマですけれども、君津市はとても広くて、千葉県内でもかなり広いところで、市街地と上総方面と小糸・清和、そういう意味では清和は山間部ですけれども、その中で魅力は何だというテーマで10年前に清和地区で自治会長をやった時に、全体で市役所のOBの方が半分くらいでした。毎月一回、区長会議の中でこれからの清和をどうするかというテーマで話し合いをしたんですけれども、その時に売りは何だというところで、恐竜だとかの大動物が中世に全くなくなって、小動物が出てきた時代の中心が君津なのではないかと。それで清和に猪原だとか鹿野山だとか動物の名前が入った地名があるので、国会図書館までその裏付けを取りに行きました。県立の方では裏付けが取れず、私も昔、県にいたものですから、その仲間で国会図書館に行こうと、これでもし出たら君津の売りになるぞということで3年くらいやりました。結局根拠が取れなかったわけですが、何が言いたいかというところと観光だとか色々な可能性が清和や君津にあるということ、この10年間で勉強させてもらいました。
- コ) 最後に、個人的な意見ですが君津の売りとか魅力は観光だけに結びつくものではないと思っています。例えば君津の「君」は横の棒が出ないとか、これは何か文化的なストーリーがあるかもしれない。それを知ると君津ってどんな街ってなった時に今まではアクセスが良い街だよとなっていたところに追加していろいろな歴史がある街だよと言えると、また魅力を感じられるのかなというところ、今回はそういうものが考えられる場というのは良いことだと思います。もしかしたら公共施設とこれが繋がってくるとより市民のための公共施設に繋がってくるのかなと思いました。

ホワイトボードの写真



次回の協議会に向けた準備

次回の協議会の目標

- 特になし

次回の協議会に向け準備する資料等

- 特になし

備考 (その他、記録すべき事項を適宜追加)

- 特になし